

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19114B	情報教育推進事業(中学校)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	会計	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	款	10:教育費
	施策の方向	05:時代に即した教育の推進	項	03:中学校費
	戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	02:教育振興費
事業予定期間	H 19 ~ H - 年度 主な根拠法令要綱等 教育の情報化ビジョン(平成23年4月:文部科学省)			

② 目的・概要	対象	中学校の生徒
	目的	21世紀にふさわしい学びの実現を図るため、従来の一斉授業に加えて、ICT機器を活用した教員と児童生徒が、共に学びあう協働学習を推進する環境を整える。
概要	平成28年度教育に関連するサーバー等の更新を行うことで、学校内ネットワークを整えるとともに、平成21年度に整備された教員一人一台の校務用コンピューター等の更新を行う。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	事業の計画	事業内容	<p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ウイルス対策・フィルタリングソフトの導入</li> <li>○平成22年度パソコン教室導入機器等の管理(関中学校分)</li> <li>○平成24年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山中学校分、中部中学校分)</li> </ul> <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT支援員の配置</li> <li>○ウイルス対策・フィルタリングソフトの活用</li> <li>○教科書改訂に伴う指導者用デジタル教科書の整備</li> <li>○平成22年度パソコン教室導入機器等の管理(関中学校分)</li> <li>○平成24年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山中学校分、中部中学校分)</li> <li>○校務用PCの更新</li> <li>○校務用サーバーの賃貸借(H28.9.1~H33.8.31)</li> </ul>	
		事業費	15,500千円	37,900千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
		一般財源	15,500千円	37,900千円
		事業費	15,496千円	35,562千円
		国庫支出金		
		県支出金		
地方債				
その他				
一般財源	15,496千円	35,562千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		53,400千円	期間外事業費(H29以降)② -	
		総事業費 (①+②) -		

			平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)		
④ 指標	①	名称	情報処理能力が身についた生徒の割合				
		補足	表計算ソフト等を使った情報処理ができる生徒数/全生徒数(中学校3年生)	成果	計画値	90	93
				単位	%	%	%
	②	名称	情報活用能力が身についた生徒の割合				
		補足	ICT機器を使って得た情報や考えを相手にわかりやすく伝え(まとめ)られる生徒数/全生徒数(中学校3年生)	成果	計画値	80	85
				単位	%	%	%
	③	名称			計画値		
		補足			単位		
④	名称			計画値			
	補足			単位			

# 事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19114B	情報教育推進事業(中学校)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 10:教育費
② 基本体系	基本施策の方向	05:時代に即した教育の推進	科	項 03:中学校費
	戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	目 02:教育振興費

② 目的・概要	対象	中学校の生徒
	目的	21世紀にふさわしい学びの実現を図るため、従来の一斉授業に加えて、ICT機器を活用した教員と児童生徒が、共に学びあう協働学習を推進する環境を整える。
概要	平成28年度教育に関連するサーバー等の更新を行うことで、学校内ネットワークを整えるとともに、平成21年度に整備された教員一人一台の校務用コンピュータ等の更新を行う。	

		27年度	28年度
①	名称	情報処理能力が身についた生徒の割合	計画値 90
	補足	表計算ソフト等を使った情報処理ができる生徒数/全生徒数(中学校3年生)	実績値 95
		単位	%
②	名称	情報活用能力が身についた生徒の割合	計画値 80
	補足	ICT機器を使って得た情報や考えを相手にわかりやすく伝え(まとめ)られる生徒数/全生徒数(中学校3年生)	実績値 93
		単位	%
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	○ウイルス対策・フィルタリングソフトの導入 ○平成22年度パソコン教室導入機器等の管理(関中学校分) ○平成24年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山中学校分、中部中学校分)				○ウイルス対策・フィルタリングソフトの導入 ○平成22年度パソコン教室導入機器等の管理(関中学校分) ○平成24年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山中学校分、中部中学校分)			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	平均給与額×③
	国庫支出金		0			一般職員人件費 ②	758	
	県支出金		0		所要人員 ③	0.10		
	地方債		0		臨時職員人件費 ④	0		
	その他		0		受益者負担額 ⑤			
	一般財源	15,500	15,496	15,174	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額		0				
		総人件費		①	758			
	総コスト		⑥	15,932				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	生徒1人1台のパソコン環境の保守管理を継続して行ったため、パソコン教室及び普通教室でのICT活用機会が増加し、生徒の情報活用能力や情報モラルを高める授業の実践が図られた。亀山市小中学校情報教育検討委員会を開催し、今後の小中学校に必要なICT環境整備に係る計画や課題を具体化することができた。	総合判定
			<b>A</b>
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	・関中学校の教育用パソコンについては、すでに更新時期を迎え、その他の中学校についても平成29年8月に更新時期を迎える。コスト面で効率的な導入ができるような更新を実施する必要がある。 ・国が示す「教育の情報化」に対応するICT環境整備が課題である。	
	【改善の方向性】	・生徒の主体的な学びと協働的な学習を可能にするための教育用可動式パソコンを導入する。 ・ネットワークサーバや校務用コンピュータの更新時にコスト面を考慮した適切な導入を行う。 ・導入機器を活用するための研修会を行う。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘